

# グローバル補助金：モニタリングと評価の計画について

人道的プロジェクトや職業研修チーム（VTT）のためにグローバル補助金を申請する提唱者は、補助金申請書とともに、モニタリングと評価の計画を提出する必要があります。本資料では、モニタリングと評価に関し、ロータリー財団が定めた重点分野の評価基準、用語の説明、定義、測定方法を概説しています。以下の評価基準は、ロータリー財団が全世界のロータリアンの活動や成果を記録し、ほかの非営利団体と同じ定義の下に活動成果を紹介するためのものです。

## モニタリングと評価の計画を立てるためのステップ

1. 明確なプロジェクト目標を立てる。
  2. ロータリー財団の評価基準の中から該当するものを選択する。
  3. プロジェクトに適した評価基準を独自に設ける。\*
  4. 基本データを定め、データの収集方法を定める。
  5. オンラインで補助金を申請する際に、モニタリングと評価の計画を併せて提出する。
  6. プロジェクトの実施中とモニタリングの過程で、データを収集する。
  7. データを評価して、その結果をオンラインで報告する。報告書には実際の成果を含める。
- \* プロジェクトの目標に明らかに関連する評価基準、プロジェクトが受益者の生活、知識、健康に与えた成果を実証するための評価基準のみを選ぶようにします。

## 「基本的教育と識字率向上」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、すべての人々のための教育と識字率向上を推進します。

- 子供たちが、質の高い基本的教育を受けられるようにする
- 教育における性別格差を縮める
- 成人の識字率を高める
- 基本的教育と識字率向上を支えていく地域社会の能力を高める
- 基本的教育と識字率向上に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
直接受益者の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
恩恵を受けた <b>就学年齢</b> の子供の数	直接観察 公文書 補助金記録と報告書	重複計算に注意
新しい <b>就学年齢</b> の子供の数	公文書 補助金記録と報告書	
新しい <b>就学年齢</b> の女子児童の数	公文書 補助金記録と報告書	
<b>成人教育</b> に関する <b>研修</b> を受けた <b>教員</b> の数	直接観察 補助金記録と報告書	重複計算に注意
<b>識字研修</b> を受けた <b>成人</b> の数	直接観察 補助金記録と報告書	重複計算に注意
プログラムに参加している <b>機関</b> の数	補助金記録と報告書	
新たに習得した識字能力を使用している <b>成人</b> の数	フォーカスグループ（座談会）／個人面談 アンケート調査	重複計算に注意
新しく創出された <b>教員職</b> の数	公文書 補助金記録と報告書	

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## 「疾病予防と治療」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、疾病の原因を減らし、その影響を緩和します。

- 地元の医療関係者の能力を高める

- HIV／エイズ、マラリア、その他の主要な疾病の蔓延を防止する
- 地域社会の医療施設を改善する
- 主要な疾病の蔓延を防止するために、地域社会の人々を動員し、教育する
- 疾病の予防と治療に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
直接受益者の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
研修を受けた <b>医療・保健従事者</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察 公文書	重複計算に注意
<b>医療サービスの質</b> が向上したと報告している人の数	アンケート調査	
<b>疾病予防・治療</b> を受けた人の数	補助金記録と報告書 直接観察 アンケート調査	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
対象とする <b>病気の発症数</b> 減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察 公文書	
恩恵を受けた <b>医療機関</b> の数	補助金記録と報告書 公文書	
地元の <b>医療機関</b> を利用しやすくなったと報告している <b>コミュニティ</b>	補助金記録と報告書 アンケート調査	
<b>保健に焦点を当てた行事</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	
<b>保健教育キャンペーン</b> の数	補助金記録と報告書	

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## 「経済と地域社会の発展」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、地域社会とその人々の生活における測定可能かつ持続的な経済発展を支援します。

- 貧しい地域における起業家や地域社会リーダーの育成、特に女性の人材育成に力を入れる
- 生産性の高い仕事の機会を特に青少年のために創出する
- 経済発展を支えるため、地元団体の能力を高め、地域社会のネットワークを強める
- 経済と地域社会の発展に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
直接受益者の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
支援を受けた <b>起業家</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	
支援を受けた <b>事業</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	
研修を受けた人の数	補助金記録と報告書 直接観察	重複計算に注意
<b>創出された仕事</b> の数	雇用者に対するアンケート調査	
収入を得るため雇用された <b>青少年</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	プロジェクトに参加した結果、新たに雇用された青少年のみを数える

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## 「母子の健康」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、母子の生活を改善します。

- 5歳未満の子供の死亡率を減らす
- 妊婦の死亡率を減らす
- より多くの母子が、適切な訓練を受けた医療スタッフによる基本的な医療サービスを受けられるようにする
- 母子の健康に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
<b>直接受益者</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
治療を受けた5歳未満の子供の数	補助金記録と報告書 直接観察 公文書	重複計算に注意
<b>妊娠中のケア</b> を受けた母親の数	補助金記録と報告書 直接観察 公文書 アンケート調査	
研修を受け、母子の健康を専門とする医療従事者の数	補助金記録と報告書 直接観察	重複計算に注意
5歳未満の子供の死亡率減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数		
5歳未満の子供の罹患率減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数	公文書	
<b>妊産婦の死亡率</b> 減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数	補助金記録と報告書 公文書	
妊産婦の罹患率減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数	公文書 アンケート調査	
恩恵を受けた医療 <b>機関</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## 「平和と紛争予防／紛争解決」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、平和と紛争予防／紛争解決を助長します。

- 地元での平和活動を強化する
- 紛争予防と仲裁に関する研修を地元のリーダーに提供する
- 紛争地域での長期的な平和構築を支援する
- 紛争による被害を受けた弱い立場にある人々、特に子供と青少年を援助する
- 平和と紛争解決に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
<b>直接受益者</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
<b>平和構築</b> 活動に参加している <b>グループ／団体</b> の数	補助金記録と報告書 直接観察 アンケート調査	
<b>紛争</b> の減少を報告した <b>コミュニティ</b> の数	フォーカスグループ（座談会）／個人面談 アンケート調査	
研修を受けた人の数	補助金記録と報告書 直接観察	重複計算に注意
<b>調停</b> された <b>紛争</b> の数	フォーカスグループ（座談会）／個人面談 アンケート調査	

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## 「水と衛生」の評価基準

ロータリー財団は、以下のような形で、人々が水と衛生設備を持続的に利用できるようにしていきます。

- 安全な飲料水と基礎的な衛生設備を地域社会のより多くの人々が均等に使えるようにする
- 持続的な水設備と衛生設備を開発し、管理していくための地域社会の能力を高める
- 安全な水と衛生について地域社会の人々を教育する
- 水と衛生に関連する研究を支援する

評価基準	測定方法	データ収集の留意事項
直接受益者の数	補助金記録と報告書 直接観察	特定の地域社会または地域の人口のみを報告するのは避けること
改善された飲料水源を使えるようになった人の数	直接観察 補助金記録と報告書 アンケート調査 公文書	
改善された衛生施設を使えるようになった人の数	直接観察 補助金記録と報告書 アンケート調査 公文書	
家庭ごとの浄水システムを通じて消毒処理された水を利用できるようになった人の数	直接観察 補助金記録と報告書 アンケート調査 検査	
研修を受けた人の数	直接観察 補助金記録と報告書	重複計算に注意
管理監督を担う委員会を設けているコミュニティの数	直接観察 アンケート調査 補助金記録と報告書	
使用料を集めて管理維持を行っているコミュニティの数	直接観察 アンケート調査 補助金記録と報告書	

太字で表示された用語は、用語集に定義が説明されています。

## データ収集の方法

方法	定義	利点
直接観察	現地視察中に、活動を直接観察して集められる情報	直接奉仕に有効（研修指導や患者のなど）
フォーカスグループ（座談会） ／個人面談	受益者との詳しい話し合い。個人との場合は面談、複数の人を対象とする場合はフォーカスグループ（座談会）となる。面接者／進行役が、特定の情報を集める目的で、あらかじめ決められた質問を投げかける。	プロジェクトの影響や受益者の体験をさらに掘り下げて調べるのに有効。質的データを入手できる。提唱者のニーズに合わせて測定できる。
補助金の記録と報告書	ロータリアン、R I、ロータリー財団、そのほかの人々の参照用に、プロジェクトの参加、活動、影響についてプロジェクトと提唱者が保管する書類	ロータリー財団により保管が義務付けられた基本情報（結果や数値など）を記録できる。
公文書	政府、民間組織、その他の団体が保有し、一般に公開されている書類	基本情報を確認するのに適している。外部組織が収集したデータは、プロジェクト提唱者のデータを補完するのに役立つ。
アンケート調査	受益者の反応、印象、意見、満足度などを調べるための具体的な質問事項	受益者から量的データと質的データの両方を集められる。また、提唱者ニーズに合わせて測定できる。

方法	定義	利点
衛星画像	人工衛星または全地球測位装置(GPS)から得られるデジタルデータ	複数の場所で行われた活動を記録するのに役立つ(井戸、診療所、学校の場所を示すなど)。特定の活動の成果を調べられる。量的データが得られる。
検査	具体的な結果を調べるために行う手続き	

## モニタリング計画のテンプレート

方法	定義	目標	測定方法	測定予定
ロータリー財団が設定した評価基準の中から適切なものを選び、記入する。	財団が定めた評価基準について本資料に記載されている定義をここに記入する。	補助金期間全体の目標を示す具体的な数値を定める。(重複計算に注意)	評価基準データの収集方法を説明する。本資料で提示されている測定方法を参考にする。	データ収集の具体的な予定を記入する。
独自に設けた評価基準を記入する。	独自の評価基準を明確に定義する。財団が定めた評価基準の定義を参考にする。	補助金期間全体の目標を示す具体的な数値を定める。(重複計算に注意)	評価基準データの収集方法を説明する。本資料で提示されている測定方法を参考にする。	データ収集の具体的な予定を記入する。

## モニタリングの例

プロジェクトの簡単な説明：若者の雇用を支援するため、職能研修を実施し、研修を受けた若者の収入増加を支援する。

方法	定義	目標	測定方法	測定予定
直接受益者の数	ロータリー財団の評価基準	(活動に新たに参加した若者 60人 × 3年間)	参加者についての情報を記録する。研修を受けた後、継続的な個人指導を受ける。	毎月、研修参加者の情報を集める。四半期ごとに、個人指導の報告書を集める。
研修を受けた若者の数		(活動に新たに参加した若者 60人 × 3年間)	すべての研修において、出席記録を付ける。	毎回の研修で出席記録を付ける。
雇用された若者の数		60人 (正社員として雇用された若者20人 + 起業家として仕事を始めた若者40人)	参加者全員にアンケート調査を行い、就職状況を調べる。複数回の調査で、正社員または起業家として働いていると答えた若のみを数える。	6ヵ月ごとにすべての参加者を対象アンケート調査を行う。

評価基準	定義	目標	測定方法	測定予定
研修プログラム終了証を受け取った若者の数		144人 (研修合計時間 = 240時間) 各研修科目において、80パーセントの参加者が190時間以上の研修に出席し、合格点を取る。	すべての研修において、出席の記録を取る。研修前にテストを行い、その結果に応じて研修内容を決定する。研修もテストを実施し、採点が行われる。また研修の質を測るため、満足度のアンケート調査も実施する。	毎年行われる6ヵ月の研修期間を通じて随時出席の記録を取る。毎月の初めと終わりにテストを実施する。四半期ごとに満足度を測るアンケート調査を行う。
個人指導を受けた若者の数		90人 (最低24間以上の個人指導が条件)	個人指導者と青少年の双方から報告書を集める。この報告書には、指導時間数、内容、参加の満足度などが含まれる。	個人指導報告書を四半期ごとに回収

## ロータリー財団の評価基準:用語の説明

以下の用語は、アルファベット順に記載されていますが、このページには、日本語の50音順に記載します。

新しい (new) : 以前は存在せず、プロジェクトの直接的な結果により生じたこと。

医療機関 (health facility) : 医療サービスが提供されている所。病院、診療所、研究所など。

医療サービス (health care services) : 疾病予防 (教育、検査など)、および病気を緩和または治すための治療 (抗レトロウイルス薬の投与など)。

医療・保健従事者 (medical and health professional) : 医者、看護師、助産師、医学学生、技師、地域社会の保健要員、保健教育者など。

改善された衛生施設 (improved sanitation) : 下水道または污水处理タンクにつながっている、水洗式または汲み水を流すタイプのトイレ。床板の汲み取り式トイレ、換気整備のある汲み取り式トイレ、コンポストトイレ (堆肥製造用トイレ)。「改善されていない衛生施設」には、下水道につながっていない水洗式または汲み水を流すタイプのトイレ、床板のない汲み取り式トイレ、バケツ式トイレ、ハンギング・ラトリン (高床式簡易トイレ)、設備なし、野外排泄などが含まれる。

改善された飲料水源 (improved sources of drinking water) : 住居内で得られる水道水、庭や敷地内で得られる水道水、公共の水道または配水塔、掘り抜き井戸または掘削孔、保護された掘り井戸、保護された湧水、雨水など。「改善されていない飲料水源」は、保護されていない掘り井戸、保護されていない湧水、給水車の水、小型ドラム缶を積んだ車、地表水、ペットボトルの水 (料理や、身の回りの衛生にはほかの改善された飲料水源を使っている場合、ボトルの水も改善された飲料水源とみなされる)。

WHO/UNICEF Joint Monitoring Programme for Water Supply and Sanitation (世界保健機関とユニセフによる水と衛生に関する共同モニタリング・プログラム)

活動量 (output) : 期待される成果を出すためにプロジェクト実施中に行われる活動。

家庭用浄水処理 (household water treatment) : 各家庭に設置され、下痢疾患の発生を減らすために効果がある浄水方法 (沸騰、塩素処理、フィルター使用、太陽光線による殺菌など)。

起業家 (entrepreneur) : 中小企業経営者または収入を得るためのその他の仕事に従事している人。

技術の利用 (point-of-use technology) : 下痢疾患の発生を減らすために効果がある家庭用浄水処理 (沸騰させる、塩素処理、フィルター使用、太陽光線による殺菌など)。

基本教育 (basic education) : 18歳以下を対象に、読み書きや地元の言語など基本的スキルを教えること。

教員職 (teaching position) : 学校または地域の正式な教育機関における役職。

グループ/団体 (group/organization) : 特定の目的のために、公式または非公式に集合した個人の集まり。

検査 (testing) : 特定の結果を調べるために行う活動。水質調査、情報の定着率、治療の成果などが含まれる。

研修 (training) : 特定のトピックについて、またはカリキュラムに基づいた指導。複数回実施できる。

子供の死亡率 (child mortality rate) : 出生児1,000人のうち、5歳未満で死亡する子供の割合。

コミュニティ (community) : 個々の村、地理的地域、医療機関などを指す。

雇用 (employment) : 正社員としての採用、起業、収入を得るためのその他の仕事。

社会的弱者 (vulnerable population) : 人口学的特性 (年齢、性別、人種/民族など)、経済的地位、疾病、障害、居住地などの要因により、弱い立場にあると考えられている人々・集団。

事業 (business) : 収入を得るための活動、中小企業、共同組合、社会事業。

質の向上 (better quality) : 価格、効率、効果、種類などの面で改善が見られること。

疾病予防措置 (disease prevention intervention) : 特定の疾病を予防または治療するための活動。

就学年齢の子供 (school-age student) : 小学校、中等学校に通う18歳以下の生徒。

受領者 (recipient) : プロジェクト活動の一環で奉仕を受けた個人

成果 (outcome) : プロジェクトの結果、受益者の知識、行動、状況が好ましく変化すること。プロジェクト実施前に目標とする状態を定める。

成果／影響 (impact) : プロジェクトや活動が人や地域社会にもたらした直接的な変化。

青少年 (youth) : 12～25歳までの個人。

成人 (adult) : 18歳以上の個人。

成人教育 (adult education) : 成人を対象に、読み書きや地元の言語など基本的スキルを教えること。

重複計算 (double counting) : プロジェクトの受益者を記録する際に、ある個人またはグループを2回以上数えてしまうこと。受益者を見分ける情報(氏名、生年月日、性別など)を記録しておき、後で複数の団体からの記録に数の団体からの記録に重複する情報がないかどうかを確認する。

調停 (mediation) : 第三者が公平な立場から、争いの解決や取引の計画を助けること。

直接受益者 (direct beneficiary) : プロジェクト活動から明確かつ直接的な恩恵を受けた人。

データ (data) : 事実、統計、各種情報など。量的データ(数値)は、プロジェクト活動の有効性を表し、質的データ(記述)は、話、証言、意見などから引き出される。プロジェクトの実施前に基本データを集めることで、プロジェクトを通じた介入前の状況を明確に把握できる。定期データは、通常、ロータリー以外の組織が継続的に収集している情報。非定期データは、定期データよりも収集の頻度が低く、主にロータリアンがプロジェクトをモニタリングし、評価する目的で集める情報。

データ収集 (data collection) : プロジェクト活動に直接関連する情報源から、データを特定して集めること。

妊産婦の死亡 (maternal death) : 妊娠中または出産後42日以内にその女性が死亡すること。

妊産婦の死亡率 (maternal mortality rate) : 出生児1,000人当たりの妊産婦の死亡数割合。

妊娠中のケア (prenatal care) : 妊娠中に少なくとも4回、研修を受けた医療従事者を訪れ健診を受けること。健診では以下が行われる。

- 妊娠の経過観察、母子の健康状態の確認
  - 妊娠に影響する問題の発見
  - 出産計画、準備や危険な状態の兆候についてのアドバイス
- 母子の健康を改善するための世界保健機関 (WHO) の提案事項より

病気の発症数 (case of disease) : 特定の病気の発症件数。累算できる(特定の期間に新たに発症した件数)。

紛争 (conflict) : コミュニティや地域に広く弊害を及ぼしている(または及ぼす可能性のある)争い。

平和構築 (peace-building) : 紛争を防いだり、解決するための活動。

保健教育キャンペーン (health education campaign) : 疾病予防と治療に関する認識を高めるため、事実に基づき信頼のおける情報を広める活動。説明会や研修カリキュラムのほか、地域社会の人々を教育するためポスター、看板、ラジオ、その他のメディアを利用した活動も含まれる。

保健に焦点を当てた行事 (health-focused event) : 疾病予防と治療について認識を高めるため、参加者に情報やサービスを提供する行事(保健フェア、研修、病気の検査など)。

水施設 (water facility) : 家庭または地域において、1人または複数の人に水を提供するシステム。

モニタリング(監視) (monitoring) : プロジェクト実施前に同意した事柄に従って、特定のデータを定期的に集めること。

予防医療 (preventive medical treatment) : 予防接種、微量栄養素補助食品、下痢の患者のための経口補水療法、肺炎やその他の呼吸器感染の患者のための抗生物質治療、抗マラリア薬治療(クロロキン、アルテミシニンなど)、抗レトロウイルス療法を含む。